

平成 26 年 6 月 25 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 橘高 公久  
電話番号 03-5572-0233

## オーストラリア イクシス LNG プロジェクト プロジェクト進捗率 50%の達成について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリアで操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともにイクシス LNG プロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めておりますが、このたび、本プロジェクトの開発作業の進捗率が 50%を達成しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、2012 年 1 月に本プロジェクトの最終投資決定を行った後、オーストラリア北部準州のダーウィンにおける陸上ガス液化プラントの建設や各種海上生産施設の建造等を世界 10 以上の国において順次進めてまいりました。2012 年 1 月の最終投資決定から 2 年 6 ヶ月弱で開発作業の進捗率が 50%を達成し、ほぼ予定通り本プロジェクトの開発作業が進んでいます。今後も残る開発作業を着実に進めていき、2016 年末までの生産開始を目指します。

当社は、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進する所存です。



オーストラリア ダーウィンで建設中の  
陸上ガス液化プラント



タイから出荷された LNG プラントモジュール



沖合生産貯油出荷施設（FPSO）船体（韓国オクポ）



沖合生産・処理施設（CPF）（韓国ゴジェ）

以上

### イクシス LNG プロジェクト

イクシスLNGプロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、FPSO等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40年という長期に渡っての稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。

### 特設サイト - イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：

<http://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>